

## 岡山県における「学力・人間力育成推進会議」の趣旨と活動

学力・人間力育成推進会議(以下、推進会議)は、自治体、学校、地域、大学、民間企業などが一体となって、人間力の育成とその基礎となる学力の向上を目指し、岡山県におけるこれからの教育を作っていくための研究組織です。

推進会議は、研究顧問の市川伸一東京大学教授、事務局の福武教育文化振興財団の支援・協力のもとに、県・市町村教育委員会の協力を得ながら「もし、このような教育ができたなら」という新しい教育のあり方（<sup>IF</sup>IFプラン）を追求していくことを中核的研究活動とします。

<sup>IF</sup>IFプランは学力・人間力育成のためのいくつかの仮説テーマを含んでいます。  
【学習環境づくりに向けての6つのプランの実現】

- 1) 「教えて考えさせる授業」が学校に定着すれば、  
・より多くの児童生徒が基礎基本を確実に習得できるであろう。 → 基礎基本の確実な習得
- 2) 学力・学習力のアセスメントテストを活用すれば、  
・学習改善、授業改善を効果的に行うことができるであろう。 → 学習改善、授業改善
- 3) 学習法指導を学校や地域で行えば、  
・家庭学習の習慣やスキルを身につけることができるであろう。 → 家庭学習の習慣・スキル
- 4) 授業外の学習支援機能が充実すれば、  
・個に応じた、補充や発展の学習ができるであろう。 → 個に応じた補充・発展
- 5) 学校と地域の連携した教育プログラムを充実させれば、  
・社会人との関わりを通して、夢や目標をもつことができるであろう。 → 夢や目標
- 6) 授業外学習ポイント制度が導入されれば、  
・地域教育への参加が促進され、人間力の育成が促進されるであろう。 → 地域教育への参加

推進会議では、それぞれのテーマに関する研究発表、情報交換、研修などを行います。

特に、これらをトータルに実現しようとする地域組織（自治体、学校、市民団体、民間企業等の連合組織）は、モデル地域として申請することによって、研究助成を受けることができます。

研究助成は原則3年間とし、モデル地域には、実施計画の実現を目指し、その経過、成果を推進会議の場で発表することが求められます。

### 【各テーマに関する参考図書】

市川伸一 『学ぶ意欲とスキルを育てるーいま求められる学力向上策ー』 小学館

市川伸一（編著） 『学力から人間力へ』 教育出版

市川伸一 『勉強法が変わる本』－心理学からのアドバイス－ 岩波ジュニア新書  
市川伸一・鎚木良夫共著 『教えて考えさせる授業』 図書文化  
市川伸一 著 『教えて考えさせる授業』を創る 図書文化 2008.6.1  
市川伸一 編著 『教えて考えさせる授業』の挑戦 明治図書 2013.7.1